

リアルが活きる！ 道徳が動き出す！

まちの課題に本気で向き合う
次代の担い手の姿から学ぶ
主体的な社会参加

若者議会 あいち しんしゅう
(愛知県新城市)
資料・インタビュー動画

動画は、この教材の学習に対応しています。

3年21 若者議会

教科書 p.118～121

内容項目 C 社会参画、公共の精神

主題名 みんなの一員、社会の一員

本気の討議がそこにはある

教科書本文だけでは伝えきれない、若者議会の熱意あふれる、真剣な政策づくり。この動画では、議会に参加する彼らの生の声をとおして、まちを思う真剣な想いを感じとることができます。

次代の地方自治を築く、新しい住民参画の仕組みの最前線で活動する若者たちの現在進行形の姿を、生きた教材としてぜひご活用ください。

学校や仕事がある参加者のために夕方から開催される若者議会。この日も新城の明日を真剣に考える若者たちの討議は、朝まで続きそうな熱を帯びていました。議会が終わったのは22時過ぎ。やがて会場前には迎えの車が次々と停まります。闇夜に輝くテールランプの光は、未来への情熱を抱え、まちづくりに挑む若者たちの姿と呼応するように感じられました。(編集部I)

ひとめでわかる！ 動画の流れ

- 若者議会の活動の様子 (00:07～)
各委員会の政策会議の様子をダイジェストで紹介しています。
- 参加者へのインタビュー ① (01:05～)
兄の参加がきっかけで、兄弟で参加しているという高校生に、活動への想いをききました。
- 参加者へのインタビュー ② (01:27～)
前年度に引き続いて参加しているという高校生に、若者議会への参加をとおして変化したことをききました。



政策会議の様子



参加者へのインタビュー

この教材で深めたい内容項目「社会参画」は、難しい・苦手、と感じられる先生も多いようです。3年生では、社会公民的分野の「政治」の単元で「住民参加」について学びます。社会科担当の先生と進捗を確認しながら、その学習を生かすかたちで進めてはいかがでしょうか。

動画コンテンツ活用のご提案

私ならこう使う！

1 「若者議会」ってなんだろう？

展開の冒頭で、タイトルにもなっている「若者議会」の定義を確かめてだてとして動画を活用しましょう。まず動画の0:00～1:00を視聴し、その後で教材を読むことで、生徒は頭の中でイメージしながら教材文を理解することができるでしょう。

2 若者議会メンバーの声を聴いてみよう！

活用例1 教材文を範読する中で

教材文の後半(教科書p.120)に、「若者議会メンバーの

声(一部)」が掲載されています。その場面まで範読し、動画の1:05以降を視聴することで、現場のリアルな雰囲気が伝わり、より当事者意識をもって教材文を具体的に考えることができます。

活用例2 教材文を読み終えたところで

範読後に動画の1:05以降を視聴する展開もオススメです。その後「自分と、この動画の若者と、何が違うのでしょうか？ そのような違いが生まれる理由を考えてみよう」と問いかけます。この問いに対し、生徒が相違点や共通点を具体的に考えることをとおして、社会参画への意欲を高めることが期待できます。

学びを深める ひと工夫

選挙の投票率が全国トップクラスの山形県。遊佐町には選挙で選ばれた「少年町長」と「少年議員」からなる「少年議会」があり、若者の政治への関心が高いことがわかります。この他、学校のある自治体で若者の社会参画について報じたニュースや新聞記事を紹介することで、生徒と教材の間に橋を架け、学びを深めることができます。

